

チーム対抗わくわくワークチャレンジ おすすめの取組

取組項目別おすすめの取組

取組項目①～⑤のうち、2項目を選んで、改善に取り組みます。
下記の例のほか、職場の状況に応じて取組内容をチームで話し合しましょう！

取組項目	“おすすめ”の取組
①仕事の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインツールの活用(具体的な活用方法の共有や、ルールの検討も効果的) ・定型業務のマニュアル化、フォーマット化 ・業務フローの見直し(個人・部署レベルでの見直し) ・属人化の解消 →複数担当制や多能工化(製造現場などで一人で複数の業務や作業を進めること)、 人員配置の柔軟化等のトライアル
②ワーク・ライフ・バランス ※①の取組とセットでの取組がおすすめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業デー、ノー残業ウィークの設定 ・年休+1運動の実施 ・一斉消灯時間のルール設定
③子育てや介護等にやさしい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業のキックオフイベント(アーカイブ配信あり)を視聴し、職場内で感想を共有 ・就業規則の周知、実際の利用手続きなどの確認 ・テレワークの実施の呼びかけ(併せて運用方法、ルールの見直し検討)
④チームワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・定例ミーティングの実施 ・スケジュールの共有(業務予定のほか、各自のタスク共有もできると効果的) ・チャットツールの活用(具体的な活用方法の共有や、ルールの検討も効果的)
⑤職場環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・5S【整理・整頓・清掃・清潔・しつけ】活動の実施 ・書類の保管場所の見直しや、作業スペースの確保など職場のレイアウト変更を実施 ・便利or生産性が上がる備品のトライアル(予算の範囲内で)

効果的に取組を進めるためのポイント

● アクションプランの作成 ～取組項目・内容の設定～

① 日ごろ感じている課題や改善の“タネ”を共有しましょう！☑

満足度の設問以外でも、日ごろ感じている課題や改善の“タネ”を共有しましょう！はじめて完璧な課題解決は難しいかもしれませんが、**まずはできることから**職場のみんなで共有し、トライしてみましょう。

② チャレンジ達成可能な取組を設定しましょう！

“**取組期間中に実行できる**”、“**成果が出る**”ことも重要なポイントです。取組項目は内容とセットで検討し、チャレンジ達成可能な取組を設定しましょう。(選択した2項目の「取組後ー取組前」の合計点数がプラスならチャレンジ達成となります。)

③ 取組内容は具体的な計画を立てましょう！

突発的な業務への対応などで、予定していた取組ができなかったなんてことも、、、**「誰が」、「いつ」、「どうやって」**取り組むのかをあらかじめ決めておく、状況の変化にも柔軟に対応できます。

● チャレンジ ～取組の実践～

① リーダーからの積極的な声掛けなどにより、モチベーションを保ち、メンバー間で連携を取りながら、着実に取り組みましょう！

② キャンペーンツールを活用し、チャレンジ参加を職場に宣言！周囲の理解・協力を得ながら取り組みましょう。(10月以降特設サイトに掲載予定)

③ 同僚に呼びかけて別のチームをつくり、一緒にチャレンジするものオススメです。

④ 行政機関、関係団体による**支援制度・イベント情報をチェック** (10月以降に特設サイトに掲載予定、労働者向け情報もあり)

● ふりかえり ～今後の継続的な取組に向けて～

① 期間中の取組はもちろん、**時間の制約等により取り組めなかった内容**についても、共有してみましょう！

② 企業単位での取組が必要な内容については、**経営者・上司**に対して今回のチャレンジの成果を報告するとともに、**さらなる一歩**を働きかけてみてはいかがでしょうか？



今回のキャンペーンで踏み出した
小さな一歩を止めることなく、
当事者全員で取組を継続し、
みんなに「いい働き方」を実現していきましょう！